

ウスバシロチョウ

兵庫県：要注目

Parnassius citrinarius

環境省：－

種の概要

前翅長30～35mm程度。翅の表面は白色で、外側が一部半透明♂の前胸部、腹部側面の体毛は黄色。山間部、谷筋の村落周辺の林縁からそれに続く草地、畑地、果樹園、河川敷など明るい環境を好む。幼虫はムラサキケマン、が中心で、成虫は年1回、5月に発生する。



写真提供：近藤伸一

国内分布

北海道、本州、四国、佐度、

県内分布記録

姫路市、神河町、たつの市、宍粟市、佐用町、豊岡市、香美町、新温泉町、朝来市、養父市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

特記事項

新規追加種

シカの食害の影響を大きくうけた種。西播磨から但馬にかけて広く分布していたが、生息域、個体数が急激に減少した。2013～16年に過去に記録のあった359か所を調査した結果、個体数に変化のなかった箇所は17%で、生息が確認できなかった箇所は48%、残りの箇所も絶滅寸前の状態であった。

保護上の留意点